

## 高温処理で害虫をノックアウト

### [研究のねらい]

夏季にビニルハウスを密閉すると、ハウス内温度は20～25分で約50℃まで上昇します。この高温処理により害虫を防除する技術を確認します。

### [研究の成果]

- ①夏季晴天日にビニルハウスを密閉します。地上1.5mの温度が48～50℃に達すると直ちに換気して、3～5分で常温に戻します。ナス、キュウリ、バラ栽培では、この処理方法による作物への影響（高温障害）はほとんどありません。
- ②高温処理は、アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類成虫、チャノホコリダニに対して有効です（図1）。
- ③ナスのミナミキイロアザミウマに対する高温処理による果実被害防止効果は、殺虫剤散布より優ります（図2）。

### [成果の活用面・留意点]

- ①7～8月の10～14時の時間帯で、気温が28℃以上、日射量が70cal/cm<sup>2</sup>/hr以上の快晴時に実施できます。ハウスの大きさに関係なく、処理開始後20～25分で50℃に達します。

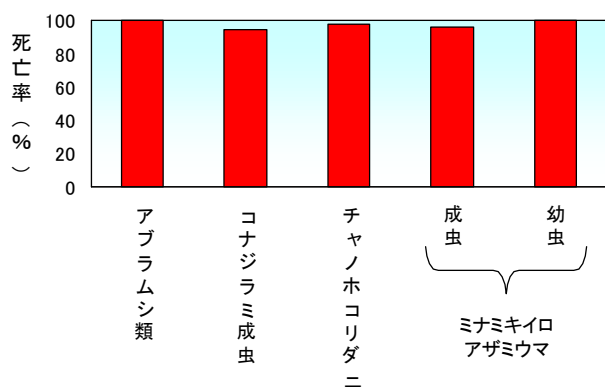


図1 ハウス栽培ナスにおける高温処理による害虫防除効果

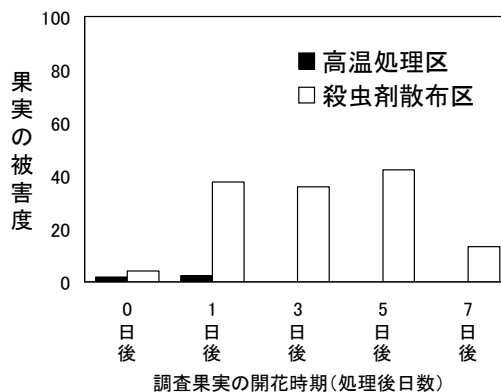


図2 ハウス栽培ナスにおける高温処理によるミナミキイロアザミウマの果実被害抑制効果 (処理後開花時期別の果実の被害度)



写真1 ミナミキイロアザミウマ



写真2 モモアカアブラムシ



写真3 オンシツコナジラミ

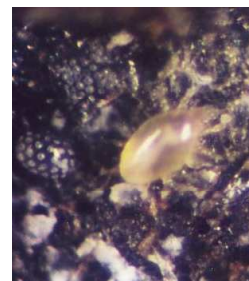


写真4 チャノホコリダニ

実施年度：昭和60～平成12年

担当者：東 勝千代、森下正彦、矢野貞彦、井口雅裕、福島綾子